

北秋田

地域医療の環境改善へ

八戸市出身
丸屋さん

耳鼻科の新医院開業

耳鼻咽喉科の開業医が今年2月から不在だった北秋田地域に3日、新たな医院が開設される。医師・丸屋信一郎さん(45)は青森県八戸市出身の「まるや耳鼻科クリニック」(北秋田市松葉町)。不在の間、唯一診療科のある市民病院に患者が集中し混雑することから「地域の医療環境改善につながる」と期待の声が上がっている。

故・石川氏の遺志継ぐ

丸屋さんは平成8年、弘前大学医学部を卒業。同大医学部を経て、米国テキサス大や国際医療福祉大(東京)などの

医療機関に勤務した。25年4月から会津中央病院(福島)に勤め、開業準備のため今年7月に退職。大館市に移り住

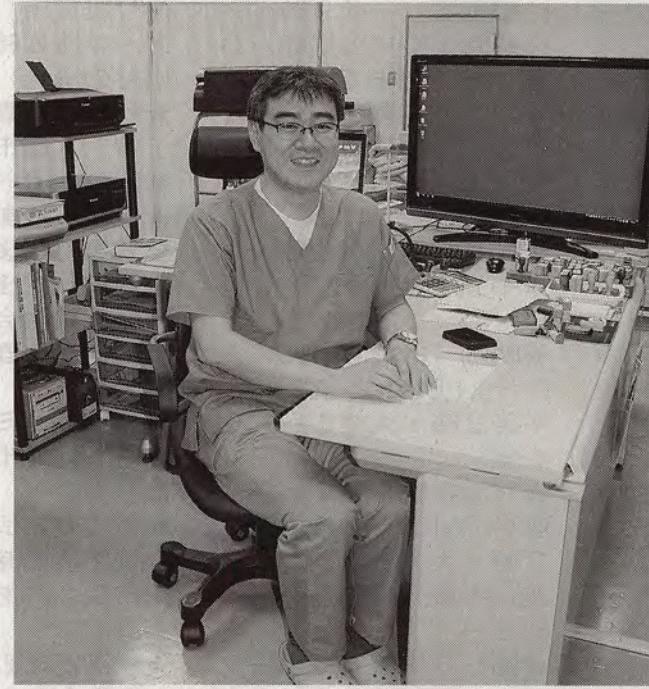
かから、1次医療を支える開業医にも「より精密に診断できる超音波検査器(エコー)が必要」と判断。開設にあたって新たに導入した。

腫瘍治療を専門にした経験がある石川先生の遺志を継ぐ思いもあり決心した。旧医院の施設設備をそのまま引き継いだ。「地域に根ざした、質の高い医療を提供したい」と話す。

現在、同市や上小阿仁村で

診察終了時間を過ぎる日もあるという。高度な治療を受けられる2次医療機関として本来、医師には重度な患者さんに専念してもらいたいところ。症状に応じて役割分担が可能になる開業医の存在は「ありがたい」

まるや耳鼻科クリニックの診療時間は午前9時から午後1時30分、午後3時から6時30分まで。休診は木曜、土曜午後、日曜、祝日。業医まで足を運ぶ人もおり、「通う時間が短くなる」との声も。大館北秋田医師会の奈良正人会長は「地域の医療環境の改善につながる」と期待している。



八戸市出身
丸屋さん
開業する医師の丸屋さん

から移り住み、まるや耳鼻科クリニックの開業医だった石川馨氏が今年2月に死去。医院も閉まった。不在状態を懸念した医療関係者から、丸屋さんには開業の誘いがかかった。

約20年前、北秋田市に勤務した縁があった。

大学の先輩に当

田秋北

3路線目を実証運行

デマンドタクシード

3日から「市民病院西線」

北秋田市は3日から、同市李岱羽立地区を起点とするデマンド型乗り合いタクシー「市民病院西線」の実証運行を始める。公共交通機関が運行していない「空白地区」にあたり、市民病院行きの移動手段を確保する。

市内のデマンド型タクシーの起点は本城になり、往路の市内南線の2路線が運行している。南線の起点となるいた福田、新田地区を西線に組み入れて再編した。南線

総合政策課によると、羽立

運行は月~金曜日。往路は

午前7時30分に羽立

発。羽根山(同35分)、福田

・

や隣の羽根山地区には路線バ

スが運行していない。住民は

運行は月~金曜日。往路は

午前7時30分に羽立

発。羽根山(同35分)、福田

・

午前7時30分に羽立

発。羽根山(同35分)、福田